

平成29年度 地域ケアプラザ事業計画書

1 施設名

日野南地域ケアプラザ

2 事業計画

1 全事業共通

地域の現状と課題について

鎌倉街道を中心軸に、日野インターや上郷舞岡線、環状3号線などの幹線道路を中心とした道路網が形成され、大型商業施設や医療機関が数多くある主要駅（港南台駅・上大岡駅・大船駅）へのバス交通網が確保されています。

その一方、幹線道路周辺は坂が多く高齢者の買い物や通院といった外出の妨げになっています。

代々住み続けている方が多い地域と昭和40年代の開発により宅地化された地域があり、開発時に転入した世代の高齢化が進んでいます。

総合相談件数は前年度比110%で微増の傾向を示しており、相談内容としては高齢者の介護保険関係の相談が多いのが現状です。介護保険サービスに繋がりにくい相談や、認知症に関する相談、ご本人や世帯の方に精神疾患が疑われるケースなど、介入が難しいケースも徐々に増えてきています。支援にあたっては地域の方とのネットワークや区や専門機関等の関係機関との連携が更に重要になってくると考えています。

ケアプラザの近隣に子育て支援の拠点が少ない現状があり、高齢者、子育て世代ともに支援体制の強化、地域のネットワーク強化の必要性を感じています。

(1) 総合相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

総合相談に関しては地域住民からの相談を待つのみでなく、来館者と積極的にコミュニケーションを取る中で相談の掘り起しを行っていきます。

地域ニーズを意識しながら様々な年代の方にケアプラザに興味を持ってもらえるような情報発信を行い、総合相談に繋げていけるよう取り組みます。

広報を活用し、地域ケアプラザが地域住民の身近な相談の場であることをPRしていきます。

地域ケアプラザには幅広い相談が寄せられますが、内容によつて的確に判断した上で、区役所や関係機関と連携し対応していきます。

(2) 各事業の連携

◆5職種で定期的にミーティングを行い、地域の情報、課題を共有しながら昨年度収集した社会資源の情報を地域の中でどのように活用していくかを検討し、また、地域で必要とされる新たな資源の開拓を連携して進めます。

◆引き続き「ミニデイサービス」「お茶飲みサロン」「認知症予防教室」を包括支援センターと地域活動交流部門の共催で実施します。その他の事業に関しても、生活支援コーディネーターも含めた5職種で協力しながら、ボランティアコーディネーターや事業内容の向上に取り組んでいきます。また、参加者情報を共有して個別支援に繋がります。

◆日野、日野南両地区のイベントや行事、各団体の定例会に分担して参加しながら地域課題や状況把握に努め、所長と5職種で情報を共有して地域支援に活かします。

(3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

地域ケアプラザに定められた人員を配置し、円滑な運営に努めます。

人財育成のため、研修は年間計画を立て、積極的に専門分野の研修や課題検討など、内外の研修に参加しスキルアップに努めます。

参加した研修は、各事業間でも情報共有を行い、より円滑に業務が遂行できるようにします。各事業が連携し、より良いサービスが提供できるよう取り組みます。

福祉保健の拠点として、公正中立を保ち事業運営に努めます。

(4) 地域福祉保健のネットワーク構築

◆区役所、区社協と共に日野地区、日野南両地区の状況把握、地域課題の共有に努め、「日野地域づくり連絡会」「日野南地域支えあいネットワーク連絡会」の事務局として地域課題の解決、「第3期地域福祉保健計画 地区別計画」の推進を支援します。

◆第3期地域福祉保健計画を身近な地域づくり計画として広く住民に周知し、委嘱委員や若い世代など様々な立場の方が活動に参加できるよう支援します。

◆担当エリアに加えて圏域や区域を超えた近隣施設、専門機関等の情報収集を行い、新たな課題の発見や解決に向け連携して取り組む関係づくりに努めます。

◆引き続き「港南区子育て連絡会」「港南台子育て連絡会」に参加し、子育てに関する情報共有に努めます。イベントや勉強会の企画運営に参加しながら各機関との関係づくりに努め、子ども達に関わる課題解決に連携して取り組みます。

◆「港南区自立支援協議会」において障がい児者支援に関わる情報共有、課題把握に努めると共に、担当エリア内の施設や専門機関との関係を築き、圏域のネットワーク構築に繋がります。「港南区学齢障害児余暇支援事業 こうなんなつつこ」に関しては、当事者、家族と地域の関係づくり、更に学校や関連施設（児童デイサービスなど）との連携も視野に入れながら、区社協や区内ケアプラザ、関係機関と共に取り組みます。

(5) 区行政との協働

◆引き続き「日野地域づくり連絡会」「日野南地域支えあいネットワーク連絡会」の事務局として区役所、区社協と共に「第3期地域福祉保健計画」の推進を支援します。

◆日野地区、日野南地区の支援チームに所長、5職種で参加する他、区役所と包括支援センターで定期的にカンファレンスを行います。区役所の専門職、区社協と情報交換、共有を重ねて相互の役割、強みを理解し、個別支援から地域支援に発展させることを意識しながら連携して地域課題の解決に努めます。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

- ◆参加者のニーズ、時代のニーズを精査して様々な世代や立場の方を対象とした事業を企画し、事業を実施する目的や意義を意識しながら事業展開を進めていきます。平日の参加が難しい子育て世代や孫育て世代が参加できる場や、「障がい理解啓発」については身近な施設や防災をテーマにした実践的な内容の講座を企画します。
- ◆事業の企画運営に地域の活動団体やボランティアに協力を仰ぎ、より充実した事業を実施すると共に、参加者自身が主体的に関われるよう働きかけ、事業の自主化に近づけるよう支援します。
- ◆昨年度、世代間交流に繋がった事業を誰もが参加できる多世代交流ひろばに発展させ、地域で居場所づくりに取り組む活動団体と共催で事業を実施。団体の活動を支援します。
- ◆地区社協や民児協、関係機関等の協力を得て地域ニーズを把握しながら、地福計画の推進に繋がる事業を企画します。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ◆広報「みなみのかぜ」や法人のホームページで、福祉保健活動の提案や貸館利用の方法を紹介すると共に、より効率的で利用しやすい貸館の提供を検討し、利用促進を図ります。
- ◆ケアプラザ事業の企画に貸館登録団体等の取り組みを活かせる内容を取り入れて協力を仰ぎ、福祉保健活動に発展させるよう働きかけます。また、施設利用マニュアルの変更によって芽生えた登録団体の福祉保健活動に対する意欲が失われないよう、近隣施設などケアプラザ内外に活動場所を開拓し、受け皿を増やしていきます。
- ◆情報交換や団体間の交流の場として「利用団体交流会」を開催し、団体間の交流や情報共有を図ると共に、地福計画や地域づくりなど、より広い福祉活動について考える機会に繋がります。
- ◆引き続き「コンサート」「作品展」など、団体が活動や成果を披露する場を提供し、充実感を得られ活動が活性化するように支援します。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

- ◆ボランティア養成講座として「障がい理解啓発講座」「よこはまシニアボランティアポイント登録研修会」を実施。また、自主事業参加者や貸館利用者に活動をよびかけ、新たな活動者の発掘に努めます。
- ◆引き続き自主事業の企画運営や高齢デイサービス、館内作業などケアプラザ内で気軽にボランティア活動ができる環境を整えます。また、ケアプラザ5職種の情報を活用し、近隣施設や地域などへ活動を発展させる提案、支援を行います。
- ◆ボランティア同士や職員との交流、情報交換の場として「ボランティア交流会」を開催します。ミニ講座などのスキルアップの機会も併せて提供します。
- ◆小学生から中学生、高校生など、若い世代が地域活動に関心を持って新たな担い手として活躍できるよう福祉学習や職業体験を積極的に受け入れます。また中学生になった初代メンバーをリーダーとして「港南ケアプラキッズ」が意欲的にボランティア活動に取り組めるよう働きかけます。
- ◆ボランティア活動状況を把握できるよう支援シートを作成し、活動者や団体が意欲を持って活動を継続できるよう支援すると共に、活動が滞っている登録者への働きかけを行います。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ◆担当エリア内に加え、隣接区を含めた近隣エリアの施設、関係機関や団体の情報を収集し、前年度生活支援コーディネーターを中心に収集した地域資源情報と併せて整理し、課題解決、ネットワークの構築に活用します。
- ◆以前より要望の高い貸館利用団体の情報提供、貸館予約状況の館内掲示を検討し、貸館登録団体および来館者の福祉保健活動の活性化に繋がります。
- ◆法人のホームページを定期的に更新し、自主事業の紹介、ボランティア募集など新鮮な情報を提供。他施設等のホームページも参考にしながらより有益な活用方法を検討していきます。また、広報「みなみのかぜ」もケアプラザや地域の情報、福祉保健活動に関する情報発信のツールとして、引き続き毎月発行します。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

- ◆ケアプラザの5職種（包括支援センター3職種、地域活動交流コーディネーター、生活支援コーディネーター）の連携強化を図るため、ケアプラザの所長及び5職種を構成員とする会議を毎月開催し、地域の特性やニーズを把握していきます。
- ◆区役所、区社協、他の地域ケアプラザ等との連携強化に努めるとともに、区役所・区社協の支援のもと、日常生活圏域の生活支援・介護予防の充実を進め、具体的な取組み事項にアプローチしていきます。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

- ◆連合自治会、民生委員児童委員協議会、地区社会福祉協議会等の会合に出席し、作成されたリストの不完全のもの等について内容を調査して、追加や補正を行ない、ニーズや資源の把握を充実させます。
- ◆把握したニーズ・資源を分析し、その結果をケアプラザ内等で共有し、区域・圏域の目標や取組事項の設定に役立てるとともに、既存団体への活動支援に活用します。

(3) 連携・協議の場

- ◆日常生活圏域の現状・課題等を連合自治会、民生委員児童委員協議会、地区社会福祉協議会等への説明・意見交換する中で、地域のニーズにあった協議体のあり方を検討します。
- ◆区役所、区社協の支援のもと、協議体を設置し、1回以上開催します。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

- ◆従前の地区アセスメントや日々の総合相談等を通じて把握している支援ニーズ・社会資源の情報を整理し、区役所・区社協へ提供し、区の現状・課題を把握・認識し共有します。
- ◆区役所・区社協と協力し、連合自治会、民生委員・児童委員協議会、地区社会福祉協議会等の支援者や住民へ現状や課題を説明し意見交換を行い、それを踏まえて、日常生活圏域の目標・取組事項を検討します。
- ◆協議体などの場で支援者や住民等と更に協議を重ね、具体的な取組事項を設定します。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

①地域におけるネットワークの構築

- ◆地域の関連団体や関係機関の会議に参加して情報共有することで支援チームが機能出来るネットワークの基盤作りに向けて取り組んでいきます。
- ◆近隣のサービス事業所と情報共有できる場を作り、それぞれの課題や地域の現状を共有していきます。

②実態把握

- ◆地区民児協や見守りネットワーク、福祉ネットワークの会議等の地域の会議に定期的に参加し、地域の福祉保健関係者からの意見の聞き取りや情報交換を通じて地域課題の把握を行っていきます。
- ◆個別相談に関してはできる限り訪問し、生活環境を含めた実態把握をしていきます。また、認定がありながらもサービスを利用していないケースについても個別訪問を行い、ご本人、ご家族のニーズの把握ができるよう取り組んでいきます。ミニデイサービスなどの自主事業や地域の会館開放などの出張相談会で地域の方の困りごとやご要望等をお伺いすることで実態把握を行い、今後の事業に活かしていきます。

③総合相談支援

- 広報紙面や自主事業の場、ひまわりホルダーの登録の機会を活用して、地域の身近な相談窓口であることを地域住民に向けて効果的に発信していきます。
- ◆地域のサロンや会館開放に参加して、包括支援センターについて多くの方に知っていただけるようPRをし、相談件数増加に向け取り組みます。
 - ◆介護保険に関する相談以外にも介護予防に関する相談、インフォーマルサービスに関する相談など必要に応じて地域の社会資源に繋ぐことができるよう支援を行います。
 - ◆休日、祝日でも可能な限り相談対応を行い、平日就労されているご家族が安心してご相談いただけるよう体制を整えていきます。各職種が専門的視点を持ちながら連携し、総合的に相談支援を行っていきます。

(2) 権利擁護業務

①成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- 個別相談に対してはご本人、ご家族の持つ力にも留意しながら成年後見制度の利用が進むよう必要な支援を行います。アセスメントを基に制度の説明から申立て支援まで、制度利用に結び付けることができるよう関係機関と連携を取り支援していきます。
- ◆港南区サポートネットに参加して最近の成年後見制度に関する情報収集を行い、後見に関する相談に活用していきます。また、地域で活動する専門職の方と情報交換しながら支援を展開していきます。
 - ◆地域の方向けに任意後見の講座を行い、制度利用に向けて普及啓発を行います。地域で生活する高齢者と関わることでできる自主事業や出張講座の場で、最新の詐欺被害等の情報を提供し、被害を防ぐことができるように啓発していきます。疑問を感じたらすぐ相談できるように専門窓口等の情報提供を行います。消費者被害が疑われた場合には関係機関と連携し、必要な場合には迅速に訪問対応して被害を防止できるよう支援を行います。

②高齢者虐待への対応

高齢者虐待悪化防止のため早期発見・早期介入ができるように、常日頃から福祉保健関係者や介護保険事業所等の事業所等のネットワークから情報収集を行い、虐待が疑われるケースのスクリーニングを行います。

- ◆横浜市高齢者虐待防止指針の内容を踏まえ、虐待が疑われるケースにおいては区役所や介護保険事業所等の関係機関と連携を図り、ご本人の安全が確保できるように迅速に支援を行います。
- ◆養護者や高齢者がサービスや地域から孤立せず安心して生活していくために、介護上の困りごとが無いのか、相談できる相手がいるか等の確認も行いながら、虐待を引き起こす要因を減らしていけるよう支援していきます。

③認知症

地域住民に認知症のことを知っていただき、ご本人やご家族に対する支援や理解が進むことを目的として認知症に関する講演会を実施します。

- ◆家族介護者が認知症の方への理解を深めることができるように介護体験談の講演会を行います。認知症家族の会あひるの会を定期的開催し、家族が情報交換したり、お互いに助言したりすることができる場として活用していきます。
- ◆地域のキャラバンメイトと協力して認知症サポーター講座を企画運営していきます。町内会自治会だけでなく、エリア内の小中学校でも実施していきます。対象に合わせ、より理解が深まるよう、教材や寸劇等にも工夫をしていきます。
- ◆地区ごとにキャラバンメイトが情報交換できる場を設定し、地域の取り組みとリンクしながら普及啓発が行えるようきめ細やかに対応していきます。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

①地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ◆民生委員とケアマネジャーの懇談会を開催し双方が連携しやすい関係作りと支援の質が向上できるよう取り組んでいきます。
- ◆民生委員とケアマネジャーの連絡票の情報整理と活用の呼びかけを行ないます。
- ◆住民参加型や福祉ネットワークの活動について情報発信し必要な社会資源をケアプランに活かせるように支援していきます。

②医療・介護の連携推進支援

- ◆主マネ分科会共催で医療と福祉のネットワークを年3回開催し、医療知識の向上と連携しやすい関係が作れるよう取り組んでいきます。
- ◆協力医と福祉関係者が顔合わせの機会を作り、気軽に話をする機会を作ります。
- ◆医療機関や薬局の個別訪問を行い地域包括支援センターの役割について周知と情報交換を行います。

③ ケアマネジャー支援

- ◆適切な介護サービスが提供できるよう事業所訪問を行い、情報提供や知識向上のための研修会や勉強会への参加を促して行きます。
- ◆包括3職種の専門性を活かしてケアマネジャーの担当する困難ケースについてアドバイスや必要に応じて同行訪問を行います。
- ◆区内主任ケアマネジャー分科会共催でケアマネジャー向きの講座を開催します。
(施設見学会3日、初級講座5日間、中級講座1日、ケアマネサロン年10回)
- ◆ケアマネジャーの自主勉強会グループの後方支援を主任ケアマネジャー分科会で輪番で行います。(年4回担当)
- ◆区内ケアマネ連絡会の後方支援を区内主任ケアマネジャー分科会共催で行います。また連絡会の情報を提供し参加をうながして行きます。(開催年6回 担当年1回)

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- ◆昨年度の地域ケア会議であがった高齢者の運転について、講座を開催し課題について地域の方と共に考え検討していきます。
- ◆他職種で個別ケースや地域課題について検討できる地域ケア会議を、日野地区・日野南地区で開催します。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

本人・家族とコミュニケーションを図り身体状況のみでなく生きがいや役割の視点をもち対応します。利用者の意向を踏まえ評価しやすい目標設定をします。また、状況に応じて生活支援サービス等も提案しながら自立支援を意識します。住み慣れた地域での生活が続けられるよう利用者の出来る事を一緒に考え支援します。上記を踏まえてケアマネジメントを実施します。また、委託事業所のケアマネージャー開催の担当者会議に参加・状況に応じた連絡等、情報交換・共有を通して連携を図ります。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

- ◆介護予防普及強化事業としてロコモ予防・口腔機能向上・栄養改善・認知症予防について下記の予定で開催場所が偏ることなく実施します。
 - ・健康体操 2017&ウォーキング 5月～6月 全3回
 - ・元気が一番！いろは塾(仮称) 10月～11月 全5回
 - ・シルバープランニング講座 12月 全2回
 - ・スリーA支援者研修(仮称) H30年1月～2月 全3回
- ◆その他
 - ・健康医学講座（協力医による講座） H30年1月～3月 1回
 - ・自治会等から介護予防に関する講座依頼があれば意向を踏まえ実施する。
- ◆2か所に立ち上がった「元気づくりステーション」の活動支援を区役所と連携して実施する。介護予防事業が集いの場づくりの動機づけになるよう働きかける。

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

小さなお子様から高齢の方まで、障がいがある方もない方も、安心してご利用いただけるよう、施設設備の保守管理を行い安全性を保ちます。

- ◆快適にご利用頂くために、館内の美化に努めます。
日々の清掃を障がい者日中活動事業と契約し、清潔を保ちます。
専門業者による定期清掃も毎月行い、快適な環境を維持していきます。
建物周りの植栽は、シルバー人材センターを活用し定期的に剪定を行い、外観維持に努めます。
- ◆建築及び設備関係は、日々館内巡視を行い、施設の破損箇所や故障箇所を早期に発見出来るように努め、定期的な点検は専門業者と契約し、不備が見つかった時には迅速に適切な対応をします。
- ◆夜間の施設管理は、警備会社と委託契約をし、安全・防犯管理に努めます。
- ◆感染症対策として、年間を通して玄関入口・トイレ及び各部屋には手指消毒剤を設置し、館内の衛生管理に努め、インフルエンザ流行期には予防として、職員はマスクの着用を行います。

イ 効率的な運営への取組について

ケアプラザ全体で情報共有・連携を図り、効率的な運営を図ります。

- ◆経理・労務などの事務処理は、法人本部と役割分担を行い、業務の効率化に努めます。
- ◆迅速に情報共有できるように社内メールを活用します。
- ◆資源の有効活用を心がけ、ムダをなくし経費削減に努めます。
- ◆施設間の連絡は、同一の通信会社の形態を活用することで、通信費の削減に努めます。

ウ 苦情受付体制について

苦情をいただいた時は、苦情解決担当・責任者を配置し、迅速かつ適切に対応します。また、客観性・透明性を確保するため第三者委員を設けます。

- ◆受付に「ご意見箱」を設置し、いつでもご意見やご要望・苦情を頂けるようにします。
- ◆サービスや事業における「利用者アンケート」を行い、適切な運営が出来るように改善していきます。
- ◆苦情を頂いた時は真摯に受け止め、誠意を持って対応します。苦情内容は、記録に残し、原因・分析を図り、今後の運営管理に活かしていきます。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

感染症や AED・危機管理の研修を行い、万が一、事故や災害・急病など緊急発生した時は、マニュアルに基づき、適切に対応します。

- ◆防災訓練は年 2 回実施し、毎回役割を変えて臨機応変に対応できるようにします。火災や災害が発生した時は、自衛消防隊を編成し、任務分担により、適切・迅速な対応を心がけます。また、地域防災拠点の防災訓練に参加させて頂き、地域との密接な協力・連携がとれるようにしていきます。
- ◆貸館利用者の方にも、避難経路の説明を行い、非常時に慌てることなく避難ができるようにしていきます。
- ◆特別避難場所として、地域防災拠点での避難が困難な方の受け入れ準備を進めていきます。法人本部とも連絡がとれるよう、衛星電話を確保し災害時に備えます。
- ◆AED 研修や感染症予防研修を行い、全職員が対応できるようにしていきます。
- ◆施設内及び周辺の巡回点検を行い、閉館後は委託契約している警備会社を活用し防犯に努めます。

オ 事故防止への取組について

日常業務の中で事故を防止するため事故防止マニュアルを整備します。常に危機意識を持ち事故を起こさないよう環境整備を行い、日々チェックリストを活用し館内点検を行います。

- ◆日々の業務の中で、ミス・ヒヤリハットを挙げだし、原因分析・対策を検討し、事故の予防に努めます。また、全体に周知し情報共有に努めます。
- ◆万が一、事故が発生した時は、速やかに適切な対処をし、原因・状況・対応を踏まえ、分析検証を行い、今後の対策を検討します。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

法人が取り扱う個人情報の重要性を認識し、「個人情報保護管理規定」「個人情報保護に対する基本方針」に基づき、利用者等の個人情報の保護に努めます。

- ◆職員の入職時には必ず個人情報保護に関する説明を行い、秘密保持誓約書を提出義務とします。毎年、個人情報保護に関する研修を職員全員に行います。
- ◆個人情報を含む郵便物送付は 2 名以上の職員で確認票を用いて内容・宛名を二重確認します。また、FAX は最小限に留め、送信の際は、個人が特定される情報はマスキングを行い、二重確認の上、送信します。
- ◆情報を外部へ持ち出す時は、データを最小限に留め、持ち出し及び返却時に指定様式を用いて、第三者の確認を行います。
- ◆個人情報が入った媒体は必ず鍵が掛かる書庫にて保管し、電子媒体はパスワードを設定して管理します。

キ 情報公開への取組について

積極的に情報公開に努めていきます。

- ◆事業計画、事業報告はホームページにて開示するとともに、いつでも閲覧できるよう受付に設置します。また、ホームページは、随時更新し新しい情報を発信していきます。
- ◆広報誌やチラシを活用し、常に新しい情報を提供していきます。

ク 人権啓発への取組について

人権研修を始め、障がい者週間や人権デーの啓発を行い、人権を尊重する基盤づくりを行います。

また、啓発講座の開催や周知を行い、人権問題に取り組みます。

当ケアプラザの特性を活かし、ふれあい、活動を行って行きます。

ケ 環境等への配慮及び取組について

「ヨコハマ 3R 夢」活動を心がけ、ごみの減量化、再利用、リサイクル、省エネルギーに取り組みます。

◆コピー用紙の裏紙活用を励行し、ごみの削減に努めます。資源ごみの徹底した分別収集に努め、再生利用できる資源は有効活用します。

◆冷暖房を適正温度に設定し節電に努めます。

◆節水・節電をこまめに行い、特に電力の消費については、使用していない部屋の消灯、パソコンや複写機の電源をオフにする等、省エネルギーに努めます。

◆送迎車両のアイドリングストップを心がけ、燃料節約と排出ガス削減に努めます。

介護保険事業

● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

看護師兼管理者 1名
主任ケアマネジャー 1名
社会福祉士 1名
介護予防プランナー（介護支援専門員） 1名

《目標》

- ・介護保険法の理念である自立支援の実現を目指し、家族、サービス事業所や関係機関と連携を取り、高齢者が住み慣れた地域で安心、安全に生活していくことができるよう支援していきます。
- ・アセスメントを行い、適切に介護保険サービスが利用できるよう、支援を行っていきます。地域の社会資源を可能な限りケアプランに盛り込むことができるよう計画作成を行います。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 利用者負担はありません。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・地域の福祉保健関係者や介護保険事業所と連絡を密に取りながら迅速に必要なサービスに繋ぐことができるように努めます。

《利用者目標》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
160	160	160	160	160	160
10月	11月	12月	1月	2月	3月
160	160	160	160	160	160

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

介護支援専門員 常 勤 2 名（管理者兼務：1 名）

《目標》

- ・ 地域ケアプラザの居宅介護支援事業者の役割として、保健医療サービス及び福祉サービス事業所と連携を図りながら、利用者の心身の状況や置かれている環境に配慮し、利用者が住み慣れた地域でご本人らしく在宅生活を継続し、自立した日常生活を営むことができるよう支援を行います。
- ・ 多様な事業者から総合的かつ効果的に利用者に提供されるよう、公正・中立な立場でマネジメントを行います。
- ・ 介護保険法令を遵守し、迅速かつ適切なマネジメントを行い、要介護状態になった際にも、迅速な対応をし、利用者が有する能力に応じ、自立した日常生活が営めるよう、居宅サービス計画（ケアプラン）作成します。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 利用者負担はありません。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・ 居宅サービス計画の作成にあたっては、適切な方法によりアセスメントの実施や家庭訪問、ケアプラン実施状況のモニタリング、サービス担当者会議の開催などを定期的に行い、適切なサービスの提供を実施していきます。
- ・ 区役所、地域包括支援センターに問題点や課題などについて積極的に相談・意見を求め、助言やアドバイスを頂くことで、より良いケアマネジメントが出来るように努めていきます。
- ・ 介護保険・認定調査員としての業務では（概算契約：年間 100 件）、区役所からの委託依頼時の際、迅速な対応を行っていきます。

《利用者目標》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
60 (10)	60 (10)	60 (10)	60 (10)	60 (10)	60 (10)
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
60 (10)	60 (10)	60 (10)	60 (10)	60 (10)	60 (10)

● 地域密着型通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 「通所介護計画」などの作成
- 生活相談（相談援助など）
- 機能訓練（日常動作訓練）
- 介護サービス（移動や排泄の介助、見守りなど）
- 送迎サービス
- 食事サービス
- 入浴サービス
- 個別機能訓練

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● サービス料金

・ 1割負担分

（要介護1）	688円
（要介護2）	812円
（要介護3）	937円
（要介護4）	1,062円
（要介護5）	1,187円

・ 2割負担分

（要介護1）	1,375円
（要介護2）	1,623円
（要介護3）	1,874円
（要介護4）	2,123円
（要介護5）	2,374円

● 加算

・ 1割負担分

（サービス提供体制強化加算Ⅱ）	7円
（介護職員処遇改善加算Ⅲ）	ご利用単位数に23/1000を乗じた単位数

・ 2割負担分

（サービス提供体制強化加算Ⅱ）	13円
（ご利用単位数に23/1000を乗じた単位数）	

※以下希望者のみ

（入浴加算）	54円	（入浴加算）	108円
（個別機能訓練加算Ⅱ）	60円	（個別機能訓練加算Ⅱ）	120円

● 食費負担 700円

● おむつ代費用

● 個別プログラムや行事などの個人希望の費用

《事業実施日数》 週5日

《提供時間》 10:00 ~ 15:10

《職員体制》※介護予防通所介護第1号事業（横浜市通所介護相当サービス）と兼務
 生活相談員 2人（常勤1人、非常勤1人）※介護職員兼務
 介護職員 5人（常勤1人、非常勤4人）※生活相談員兼務
 機能訓練指導員（看護師）3人（非常勤3人）一日1人体制のローテーション勤務

（合計）常勤1人、非常勤職員7人（合計8人）

《目標》

利用者、利用者家族、お一人お一人のニーズに可能な限り応えることで、利用者の生活の質の向上、サービスの質の向上を目指します。また、利用者家族・関係者の介護負担を軽減するよう努めます。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ① 創作活動やテーブルゲームなどの個別プログラムを利用者の希望を聞きながら提供していきます。
- ② 季節行事としてレクリエーションイベントを企画します。
- ③ 近隣の小学生の交流学習や中学生、高校生の職業体験などを受け入れます。

- ④地域のボランティアグループの方々との交流を深めていきます。
- ⑤畳敷きのお風呂で入浴イベントを楽しんでいただきます。
- ⑥食事は四季折々の松花堂弁当での提供も行います。
- ⑦アート活動として、絵画指導など創作的活動を行います。
- ⑧看護師、生活相談員、介護職員が共同して個別機能訓練に係る個別計画を作成し、的確な運動を提案、定期的な評価と計画の見直しを行います。

《利用者目標（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
180	207	198	187	207	189
10月	11月	12月	1月	2月	3月
220	220	200	200	200	220

● 介護予防通所介護・第1号通所事業

《提供するサービス内容》

- 「通所介護計画」などの作成
- 生活相談（相談援助など）
- 機能訓練（日常動作訓練）
- 介護サービス（移動や排泄の介助、見守りなど）
- 送迎サービス
- 食事サービス
- 入浴サービス
- 運動器機能向上に係る個別計画の作成

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● サービス料金

・ 1割負担分		・ 2割負担分	
（要支援1）	1,766円	（要支援1）	3,531円
（要支援2-週1回程度）	1,792円	（要支援2-週1回程度）	3,583円
（要支援2-週2回程度）	2,034円	（要支援2-週2回程度）	4,066円

● 加算

・ 1割負担分		・ 2割負担分	
（サービス提供体制強化加算Ⅱ）		（サービス提供体制強化加算Ⅱ）	
（要支援1）	26円	（要支援1）	52円
（要支援2-1回程度）	26円	（要支援2-1回程度）	52円
（要支援2-2回程度）	52円	（要支援2-2回程度）	103円
（介護職員処遇改善加算Ⅲ） ご利用単位数に23/1000を乗じた単位数）			

※以下希望者のみ

（運動機能向上加算）	242円	（運動機能向上加算）	483円
------------	------	------------	------

- 食費負担 700円
- おむつ代費用
- 個別プログラムや行事などの個人希望の費用

《事業実施日数》 週5日

《提供時間》 10:00 ~ 15:10

《職員体制》※地域密着型通所介護と兼務

生活相談員 2人（常勤1人、非常勤1人）※介護職員兼務
 介護職員 5人（常勤1人、非常勤4人）※生活相談員兼務
 機能訓練指導員（看護師）3人（非常勤3人）一日1人体制のローテーション勤務

（合計）常勤1人、非常勤職員7人（合計8人）

《目標》

利用者、利用者家族、お一人お一人にニーズに可能な限り応えることで、利用者の生活の質の向上、サービスの質の向上を目指します。また、利用者が自立した日常生活を営めるよう支援していきます。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ① 創作活動やテーブルゲームなどの個別プログラムを利用者の希望を聞きながら提供していきます。
- ② 季節行事としてレクリエーションイベントを企画します。
- ③ 近隣の小学生の交流学習や中学生、高校生の職業体験などを受け入れます。

- ④地域のボランティアグループの方々との交流を深めていきます。
- ⑤加算の有無に係らず、入浴サービスを提供します。
- ⑥食事は四季折々の松花堂弁当での提供も行います。
- ⑦アート活動として、絵画指導など創作的活動を行います。
- ⑧看護師、生活相談員、介護職員が共同して運動器機能向上に係る個別計画を作成し、的確な運動を提案、定期的な評価と計画の見直しを行います。

《利用者目標（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
5	5	5	5	5	5
10月	11月	12月	1月	2月	3月
6	6	6	6	6	6

平成29年度 「日野南地域ケアプラザ」 収支予算書及び報告書（一般会計）

収入の部 (税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	18,936,741	0	18,936,741		18,936,741	横浜市より（提案額20163640－提案時に記載のあった「利用料金の活用」727640＋建築・設備12条点検費加算228381）
利用料金収入	0		0		0	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入	325,000		325,000		325,000	
自主事業収入	0	0	0	0	0	
雑入	38,000	0	38,000	0	38,000	
印刷代	38,000		38,000		38,000	
自動販売機手数料	0	0	0	0	0	
駐車場利用料収入	0	0	0	0	0	
その他（施設使用料相当額）	0	0	0	0	0	第3期の指定管理施設のみ
その他（法人負担分）	0	0	0	0	0	第3期の指定管理施設のみ
収入合計	19,299,741	0	19,299,741	0	19,299,741	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	12,470,000	0	12,470,000	0	12,470,000	
本俸	9,044,000		9,044,000	0	9,044,000	正職員本給・準職員・非常勤職員給与など
社会保険料	800,000		800,000	0	800,000	健康保険・厚生年金・雇用保険・労災保険・事業主負担分など
手当計	2,380,000		2,380,000	0	2,380,000	正職員諸手当・賞与など
健康診断費	75,000		75,000	0	75,000	健康診断料
勤労者福祉共済掛金			0	0	0	ハマふれんど等
退職給付引当金繰入額	171,000		171,000	0	171,000	
その他			0	0	0	退職金など（※人件費の合計額が提案額を下回る場合は、その他で調整）
事務費	1,275,760	0	1,275,760	0	1,275,760	
旅費	1,000		1,000	0	1,000	職員旅費交通費など
消耗品費	449,000		449,000	0	449,000	事務用品・コピー・コピー用紙他
会議賄い費			0	0	0	
印刷製本費			0	0	0	
通信費	243,000		243,000	0	243,000	NTT・携帯電話・インターネットプロバイダ料・郵便代など
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
備品購入費			0	0	0	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険	58,000		58,000	0	58,000	
職員等研修費	6,000		6,000	0	6,000	
振込手数料			0	0	0	
リース料	110,000		110,000	0	110,000	
手数料	45,000		45,000	0	45,000	
地域協力費			0	0	0	
その他	363,760		363,760	0	363,760	職員被服費・従事者保険・衛生用品・お茶代など（※提案額を下回る場合は、その他で調整）
事業費	811,000	0	811,000	0	811,000	
運営協議会経費	42,000		42,000	0	42,000	指定額
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費	769,000		769,000	0	769,000	
自主事業費	0	0	0	0	0	
管理費	3,745,381	0	3,745,381	0	3,745,381	
建築物・建築設備点検	228,381		228,381	0	228,381	指定額
光熱水費	1,102,000	0	1,102,000	0	1,102,000	
電気料金	688,000		688,000	0	688,000	
ガス料金	204,000		204,000	0	204,000	※収支の差引（E79）が0になるように、ここで適宜調整
水道料金	210,000		210,000	0	210,000	
清掃費	503,000		503,000	0	503,000	
修繕費	474,000	0	474,000	0	474,000	
機械警備費	92,000		92,000	0	92,000	
設備保全費	932,000	0	932,000	0	932,000	
空調衛生設備保守	305,000		305,000	0	305,000	
消防設備保守	49,000		49,000	0	49,000	
電気設備保守			0	0	0	
害虫駆除清掃保守	329,000		329,000	0	329,000	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	249,000		249,000	0	249,000	
共益費			0	0	0	
その他	414,000		414,000	0	414,000	ゴミルート回収費等
公租公課	997,600	0	997,600	0	997,600	
事業所税			0	0	0	
消費税	997,600		997,600	0	997,600	人件費の消費税
印紙税			0	0	0	
その他（ ）			0	0	0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	0	0	0	0	0	
本部分	0	0	0	0	0	
当該施設分	0	0	0	0	0	
二一ズ対応費			0	0	0	
支出合計	19,299,741	0	19,299,741	0	19,299,741	
差引	0	0	0	0	0	※差引0になるように各項目のその他・光熱費等で調整をお願いします。

平成29年度 「日野南地域ケアプラザ」 収支予算書及び報告書 (特別会計)

収入の部 (税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料 (包括)	23,585,709		23,585,709		23,585,709	横浜市より(提案額合計23790000円ー「利用料金の活用」265000円+建築設備12条点検費加算60709円)
指定管理料 (介護予防)	151,000		151,000		151,000	横浜市より
指定管理料 (生活支援)	5,789,000		5,789,000		5,789,000	横浜市より(人件費+事業費)
利用料金収入	2,976,000		2,976,000		2,976,000	介護保険収入等充当分(介護予防ケアプラン作成報酬)
自主事業 (指定管理料充当の自主事業) 収入	114,000		114,000		114,000	
自主事業収入	0	0	0	0	0	
雑入	23,000	0	23,000	0	23,000	
印刷代	23,000		23,000		23,000	
自動販売機手数料	0	0	0	0	0	
駐車場利用料金収入	0	0	0	0	0	
その他 ()			0		0	
その他 ()			0		0	
収入合計	32,638,709	0	32,638,709	0	32,638,709	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	28,311,000	0	28,311,000	0	28,311,000	
本俸	18,430,000		18,430,000		18,430,000	正職員本給・準職員・非常勤職員給与など
社会保険料	2,657,000		2,657,000		2,657,000	健康保険・厚生年金・雇用保険・労災保険・事業主負担分など
手当計	6,398,000		6,398,000		6,398,000	正職員諸手当・賞与など
健康診断費	89,000		89,000		89,000	健康診断料
勤労者福祉共済掛金			0		0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	737,000		737,000		737,000	
その他			0		0	退職金など(※人件費の合計額が提案額を下回る場合は、その他で)
事務費	1,642,000	0	1,642,000	0	1,642,000	
旅費	10,000		10,000		10,000	職員旅費交通費など
消耗品費	200,000		200,000		200,000	事務用品・コピー・コピー用紙他
会議賄い費			0		0	
印刷製本費			0		0	
通信費	301,000		301,000		301,000	NTT・携帯電話・インターネットプロバイダ料・郵便代など
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分			0		0	
その他			0		0	
備品購入費			0		0	
図書購入費			0		0	
施設賠償責任保険	49,000		49,000		49,000	
職員等研修費	10,000		10,000		10,000	
振込手数料	10,000		10,000		10,000	
リース料	215,000		215,000		215,000	
手数料			0		0	
地域協力費			0		0	
その他	847,000		847,000		847,000	職員被服費・従事者保険・衛生用品・お茶代など(※提案額を下回)
事業費	1,618,000	0	1,618,000	0	1,618,000	
協力医	630,000		630,000		630,000	指定額
介護予防事業	151,000		151,000		151,000	
生活支援体制整備事業費	309,000		309,000		309,000	※事業費のみ。生活支援Co人件費は人件費の項目に計上
自主事業 (指定管理料充当の自主事業) 費	528,000		528,000		528,000	
自主事業費	0	0	0	0	0	
管理費	1,067,709	0	1,067,709	0	1,067,709	
建築物・建築設備点検	60,709		60,709		60,709	指定額
光熱水費	446,000	0	446,000	0	446,000	
電気料金	240,000		240,000		240,000	
ガス料金	98,000		98,000		98,000	※収支の差引(E84)が0になるように、ここで適宜調整
水道料金	108,000		108,000		108,000	
清掃費	135,000		135,000		135,000	
修繕費	126,000		126,000		126,000	
機械警備費	25,000		25,000		25,000	
設備保全費	249,000	0	249,000	0	249,000	
空調衛生設備保守	82,000		82,000		82,000	
消防設備保守	13,000		13,000		13,000	
電気設備保守			0		0	
害虫駆除清掃保守	87,000		87,000		87,000	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	67,000		67,000		67,000	
共益費			0		0	
その他	26,000		26,000		26,000	ゴミルート回収費等
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税			0		0	
その他 ()			0		0	
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	
本部分	0	0	0	0	0	
当該施設分	0	0	0	0	0	
二一ズ対応費			0		0	
支出合計	32,638,709	0	32,638,709	0	32,638,709	
差引	0	0	0	0	0	

平成29年度 自主事業収支計画書

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
うたごえサロン 「つばさ会」	地域	192,000	0	192,000	84,000	0	お茶・お菓子・雑費 108,000
	80						
	200 (1回あたり)						
うたごえサロン 「日野南ハーモニー」	地域	120,000	0	120,000	84,000	0	お茶・お菓子・雑費 36,000
	50						
	200 (1回あたり)						
ハッピーうたの会	地域	100,000	0	100,000	66,816	0	お茶・お菓子・雑費 33,184
	50						
	1000 (半年分)						
男のセカンドステージの 生き方を探る	男性	85,000	0	85,000	20,000	30,000	保険料、雑費 35,000
	30/20(いずみの会)						
	2500/500(いずみの会)						
男のセカンドステージの 生き方を探る(公開講座) 「神話の世界Ⅱ」	地域	0	0	0	0	0	0
	40						
	0						
いずみの会	いずみの会登録者	0	0	0	0	0	0
	20						
	0						
子育てまなび隊☆ 「はぐはぐ」	未就園児親子	65,000	42,500	22,500	30,000	15,000	保険料、雑費 20,000
	15組						
	1500						
みんなのひろば 「ふらっと」	地域	80,000	36,000	44,000	33,000	33,000	保険料、雑費 14,000
	定めず						
	200 (1回あたり)						
小学生ボランティアグループ 港南ケアブラキッズ	小学生	30,000	30,000	0	0	15,000	保険料、雑費 15,000
	30						
	0						
トマトクラブ	地域	55,000	45,000	10,000	0	40,000	保険料、雑費 15,000
	10						
	1000						
障がい者のための認知症予防講座 (スリーA) 「ロールケーキの会」	40歳以上の障がい者	18,000	0	18,000	0	0	保険料、お茶菓子、雑費 18,000
	15						
	100 (1回あたり)						
おやこコンサート 「親と子のカンガルーコンサート」	未就園児親子	4,000	4,000	0	0	4,000	0
	30組						
	0						
よこはま シニアボランティアポイント ボランティア登録研修会	65歳以上の市民	3,000	3,000	0	0	0	雑費 3,000
	20						
	0						
ボランティア交流会	ボランティア登録者	60,000	60,000	0	0	0	昼食・お菓子・雑費 60,000
	50						
	0						
テラスで水遊び	未就学児親子	5,000	3,500	1,500	0	0	水遊び用具・保険料 5,000
	15組						
	50 (1回あたり)						

平成29年度 自主事業収支計画書

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
横浜市日野南地域ケアプラザ そよかぜ南の家2017 みなみ・夏・まつり	地域	60,000	60,000	0	5,000	3,000	お茶・昼食代・雑費 52,000
	定めず						
	0						
港南区学齢障害児余暇支援事業 こうなんなつっこ2017	障がい児と保護者	64,000	(社協助成金40,000円)		42,000	15,000	雑費 7,000
	8/8組		0	64,000			
	2000/1000						
利用団体交流会	貸し館利用団体	15,000	15,000	0	0	0	お茶、お菓子 15,000
	50						
	0						
クリスマス作品展	地域	10,000	10,000	0	0	0	雑費 10,000
	20						
	0						
イチゴパフェの クリスマスコンサート	地域	4,000	4,000	0	0	4,000	0
	80						
	0						
秋のコンサート	地域	25,000	25,000	0	0	5,000	お茶、雑費 20,000
	100						
	0						
ミニデイサービス 「かっぱの会」	地域の高齢者	126,700	21,700	105,000	0	122,500	保険料 4,200
	25						
	700 (1回あたり)						
スリーA認知症予防教室 「そよかぜの会」	地域の高齢者	(包括で管理する)					
	20	0	0	0	0	0	0
	100 (1回あたり)						
お茶飲みサロン	地域の高齢者	(包括で管理する)					
	30	0	0	0	0	0	0
	100 (1回あたり)						
子育て広場	未就学児親子	0	0	0	0	0	0
	定めず						
	0						
赤ちゃん教室	0歳児親子	0	0	0	0	0	0
	定めず						
	0						
傾聴ボランティア 自主活動グループ 「ふじみ会」	傾聴ボランティア 講座終了者	0	0	0	0	0	0
	10						
	0						
障がい児者理解啓発講座	地域	25,000	25,000	0	15,000	0	雑費 10,000
	30						
	0						
障がい児のための親子サークル 「めばえ」 音楽であそぼう!	小学生までの障がい児 と保護者	10,000	10,000	0	0	5,000	保険料・雑費 5,000
	10組						
	0						
子育て孫育て世代のための 安全・安心講座 (救急法・防災)	未就学児の保護者	20,000	20,000	0	10,000	5,000	雑費 5,000
	30						
	0						
ふるさと日野の よもやま話	地域	15,000	15,000	0	10,000	0	雑費 5,000
	50						
	0						
あおぞら ウォーキング	地域	6,000	6,000	0	0	0	保険料、雑費 6,000
	20						
	0						
港南台キャンドルナイト	地域	10,000	10,000	0	0	7,000	雑費 3,000
	定めず						
	0						
日野地域づくり 健康ウォーキング	日野地区住民	0	0	0	0	0	0
	定めず						
	0						
高齢者見守り事業 ひまわりホルダー	高齢者	0	0	0	0	0	0
	300						
	300						
		1,207,700	445,700	762,000	399,816	303,500	504,384

平成29年度 自主事業計画書

横浜市日野南地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
うたごえサロン 「つばさ会」	<p>(目的) 地域の方々が一緒に歌ったり、交流できる場を提供することにより、閉じこもりになりがちな高齢者にとって外出できる場としてもらう。若い世代には古くから歌い継がれてきた曲を知ってもらうきっかけとしてもらう。</p> <p>(内容) ・椅子に座ってできる体操 ・ピアノの伴奏に合わせて歌う ・茶話会</p>	毎月第1木曜日 年12回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
うたごえサロン 「日野南 ハーモニー」	<p>(目的) 閉じこもりになりがちな高齢者にとって外出ができ、交流が図れる場としてもらう。 デイサービスや夏まつりでの発表などボランティア活動を体験し、生きがいを感じてもらう。</p> <p>(内容) ・ピアノの伴奏に合わせて歌う ・数曲を集中して練習しハーモニーを楽しむ</p>	毎月第4月曜日 年12回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ハッピー うたの会	<p>(目的) 地域の方々がフォークソングを中心に懐かしい歌を歌って心身の健康と交流を図り、閉じこもりになりがちな高齢者の外出の機会としてもらう。</p> <p>(内容) ・ピアノやギターの伴奏に合わせて歌う ・先生の演奏を楽しむ</p>	毎月第2木曜日 年12回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
男のセカンド ステージの生き方 を探る	<p>(目的) 地域に住む男性の方がセカンドライフを充実させるために、地域の仲間とふれあう機会をもっと増やし、喜び楽しんで共に生きていく仲間を身近に見つける。そして、その中で、お互いに助け合い支えあって、地域のために奉仕する喜びを味わうことができるようになる。</p> <p>(内容) ・講演会、料理と懇親会、ウォーキング、など</p>	6月～11月 第4土曜日 12月 全7回 1コース

平成29年度 自主事業計画書

横浜市日野南地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
男のセカンドステージの生き方を探る (公開講座) 「神話の世界Ⅱ」	(目的) 男のセカンドステージの生き方を探るの公開講座。生涯学習の機会を提供することにより、人生のセカンドステージを充実させて、地域での仲間作りの一助とする。 (内容) ・「神話の世界」をテーマにした講演会	10月 年1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
いずみの会	(目的) 「男のセカンドステージの生き方を探る」を企画することで地域での仲間作りの一助とし、地域活動に参加するきっかけとする。 (内容) ・定例会の開催 ・男性同士の交流 ・講座の企画	毎月第2金曜日 年12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育てまなび隊☆ 「はぐはぐ」	(目的) 未就園児の母親が、様々な体験を通して子育てについて楽しく学べる講座として実施。情報収集及び情報交換、交流の場として提供。 (内容) ・手あそび、わらべ歌、救急法、子育て相談会、ヨガ、幼児食づくりなど ・茶話会 ・参加者同士の交流	9月～12月 金曜日(不定期) 1コース6回 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みんなのひろば 「ふらっと」	(目的) 赤ちゃんから高齢者、ハンディのある方まで様々な世代が集まり交流出来る場を通じて外出や仲間づくり、地域活動に関心を持ってもらうきっかけとする。 (内容) ・毎月のテーマに沿ったイベント ・お誕生会 ・おやつタイム	毎月第4木曜日 年12回

平成29年度 自主事業計画書

横浜市日野南地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
小学生ボランティアグループ「港南ケアプラキッズ」	<p>(目的) 気軽にできる活動を通して、小学生にボランティア・福祉保健活動に関心を持ってもらうきっかけとする。地域のボランティアにサポーターとして活動を支援してもらうことで、世代間交流を図る。</p> <p>(内容) ・3階テラスの水やり、畑作業 ・ケアプラザ内でのボランティア活動 ・お楽しみ企画</p>	毎月第2日曜日 (8月のみ8/1) 年12回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
障害児のための親子サークル「めばえ」～音楽で遊ぼう～	<p>(目的) 心身に障害のある幼児および小学生と保護者の仲間づくり、交流の機会として活動する自主グループの活動支援</p> <p>(内容) ・音楽あそび(リトミック) ・自由遊び ・保護者の情報交換・共有 ・季節のイベント</p>	毎月第1土曜日 年12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
トマトクラブ	<p>(目的) 外出する機会の少ない高齢者の閉じこもり予防。畑作業を通して仲間づくり、世代間交流を図る。</p> <p>(内容) 3階テラスの畑作業</p>	毎月第2,4水曜日 (定例会) ※他、不定期開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
障がい者のための認知症予防講座(スリーA)「ロールケーキの会」	<p>(目的) 障がいのある方の余暇支援。外出・交流の機会とすると共に、介護予防を図る。</p> <p>(内容) ・認知症予防講座「スリーA」 ・茶話会</p>	毎月第1土曜日 年12回

平成29年度 自主事業計画書

横浜市日野南地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おやこコンサート (親と子のカンガルーコンサート)	<p>(目的) 子育て支援の一貫として、普段生の演奏に触れる機会の少ない乳幼児と保護者に、音楽を楽しんでもらう場を提供する。</p> <p>(内容) ・童謡、唱歌、最新のヒット曲まで、親子で一緒に楽しめるコンサート</p> <p>主催：日野地区民児協、地区社協 日野南地区民児協、地区社協</p>	5月 年1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ボランティア交流会	<p>(目的) 日頃よりお世話になっているボランティアの方々に感謝の気持ちを伝え、活動の定着化を図る。ボランティア間の交流を図る機会とする。</p> <p>(内容) ・自己紹介、活動報告 ・ミニ講座 ・昼食を取りながら交流、情報交換</p>	10月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
テラスで水あそび	<p>(目的) 未就学児を対象として親子で一緒に、家庭ではなかなかやりにくい水遊び、手遊びなどの活動を通して親子の触れ合いの大切さを学ぶと共に地域での交流の場を提供する。</p> <p>(内容) ・3Fテラスにプールを出して水遊び ・雨天時は多目的ホールにてふれあい遊び ・協力園の保育士と一緒に子育て支援ボランティアに見守り、準備等で活動してもらう。</p> <p>協力：赤い屋根保育園、港南台第二保育園</p>	7月・8月 年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
横浜市日野南地域ケアプラザ そよかぜ南の家 2017みなみ・夏・まつり	<p>(目的) 日野南地域ケアプラザ・そよかぜ南の家を地域の方、事業所関係者などに知ってもらう機会とする。ケアプラザの事業等に協力してくださっている方々の活動発表の場。</p> <p>(内容) ・子ども縁日、コンサート、工作コーナー、おはなし広場、ふらっとカフェ</p>	8月1日(火) 年1回

平成29年度 自主事業計画書

横浜市日野南地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
港南区学齢障害 児余暇支援事業 こうなんなつっこ 2017	<p>(目的) 障がいのある学齢児の長期休日における外出の機会。児童生徒や保護者と地域住民と知り合う機会とする。</p> <p>(内容) ・顔合わせのプレイベント（ボランティア説明会） ・調理、音楽、体操など ・保護者の交流の機会</p>	8月 年4回 (顔合わせ含む)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
利用団体交流会	<p>(目的) ケアプラザ利用団体のネットワークの構築・交流を図り、貸し館利用の定着と稼働率の向上を目指す。また、団体の活動を地域に活かす働きかけの機会とする。</p> <p>(内容) ・親睦会（情報交換・活動紹介など） ・避難経路の確認</p>	未定 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
クリスマス 作品展	<p>(目的) 手作りを楽しんでいる貸し館登録団体の方たちの作品を展示し、日頃の成果を発表していただくと共に、ケアプラザを訪れる方たちにクリスマスの雰囲気を楽しんでいただく。</p> <p>(内容) ・貸し館登録団体の作品展示</p>	12月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
イチゴパフェの クリスマスコン サート	<p>(目的) 世代を超え、また障がいを持つ方など、日頃コンサートに行くことが難しい方々が音楽を聴き楽しむことができる。</p> <p>(内容) ・童謡、唱歌、最新のヒット曲まで、親子で一緒に楽しめるコンサート</p> <p>主催：日野地区民児協、地区社協 日野南地区民児協、地区社協</p>	12月 年1回

平成29年度 自主事業計画書

横浜市日野南地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
秋のコンサート	<p>(目的)</p> <ul style="list-style-type: none"> 貸館利用団体や自主事業参加者の発表の場をすることでやりがいをもって活動してもらえるようにする。 <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自主事業参加者の活動発表と、音楽関係の貸館利用団体参加のコンサート 	11月 年1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ミニデイサービス 「かっぱの会」	<p>(目的)</p> <p>外出する機会の少ない高齢者を対象に、様々なプログラムを通して交流の機会を提供していく。 また、家族が認知症家族の会に参加している間に要介護者の方に過ごしていただく場としても利用。</p> <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康体操・手工芸・ゲーム 	毎月第2金曜日 年12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
スリーA認知症 予防教室 「そよかぜの会」	<p>(目的)</p> <p>地域高齢者を対象に、認知症予防・閉じこもり予防を目的に、様々なプログラムを通して交流の機会を提供していく。</p> <p>(内容)</p> <p>あかるく・あたまを使って・あきらめない(3A)の考え方をもとに手遊びや歌、体を動かすプログラムを展開する。</p>	毎月第1,3木曜日 年24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
お茶飲みサロン	<p>(目的)</p> <p>日ごろ、外出機会の少ない高齢者の居場所を作り、閉じこもりや認知症を予防していく。</p> <p>(内容)</p> <p>お茶を飲みながらおしゃべりしたり、趣味に合わせてカラオケ、麻雀・囲碁・将棋・手芸などの活動。</p>	毎月第4金曜日 年12回

平成29年度 自主事業計画書

横浜市日野南地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て広場	<p>(目的) 子育て世代が交流できる場を提供すると共に当ケアプラザを利用するきっかけとしてもらう。 又、子育て支援者が養育者の相談に乗ることができる場としての利用。</p> <p>(内容) ・横浜市が委託した子育て支援者が養育者の相談に対応する ・港南区福祉保健センター主催</p>	<p>毎週火曜日 (祝日と8月1日を除く) 年50回</p>

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
赤ちゃん教室	<p>(目的) 子育て世代が交流できる場を提供すると共に当ケアプラザを利用するきっかけとしてもらう。 日野南1～7丁目で初めての出産を控えている妊婦さん、第一子を出産した養育者の育児相談及び親子の交流, 不安解消ができる場として提供。</p> <p>(内容) ・母乳栄養、離乳食、病気と予防、生活環境など育児に関する相談。 ・参加者同士の交流 ・港南区福祉保健センター主催</p>	<p>毎月第4水曜日 (8月を除く) 年11回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
傾聴ボランティア自主活動グループ「ふじみ会」	<p>(目的) 傾聴ボランティア講座修了者で結成した傾聴ボランティア自主活動グループ「ふじみ会」が安定した活動ができるようにする。</p> <p>(内容) ・傾聴についてワークショップを通じて実践的に学びながら実際に活動をする ・グループ運営、経費の管理については活動者が主体となっていく ・安定した活動が出来るよう、活動場所の確保、高齢デイサービスでのボランティアの窓口として支援する。</p>	<p>毎月第2水曜日 (8月を除く) 年11回</p>

平成29年度 自主事業計画書

横浜市日野南地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
よこはまシニアボランティアポイントボランティア登録研修会	<p>(目的) 65歳以上の横浜市民を対象に、社会参加、社会貢献を通じた生きがいを得て、健康維持や介護予防につなげる。</p> <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な場所でシニアボランティアポイント登録研修会を実施（事業概要、ボランティアの基礎知識等） ・ボランティアポイントカードの発行 <p>共催：かながわ福祉サービス振興会</p>	6月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
障がい児者理解啓発講座「障がいのこと知ってみませんか」	<p>(目的) 地域住民を対象とした障がい理解啓発講座。地域住民と障がいのある方、家族が地域の一員として知り合い、助け合える関係づくりの一助とする。</p> <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な障がいの特性について ・身近な施設を知ろう ・災害時の備えと助け合いについて 	8月・9月 10:00～12:00 年3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て孫育て世代のための安全安心講座（救急法・防災）	<p>(目的) 子育て世代の防災意識の向上 ケアプラザに来ることの少ない若い父親や就業中の母親世代、祖父母に当館を知り、利用してもらうきっかけとする。</p> <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・港南消防署港南台消防出張所の協力で、救急法、防災講座を実施。 ・土日、または祝日に実施 	10月・11月 10:00～12:00 年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
港南台キャンドルナイト	<p>(目的) 地域のイベントに協力し、他団体との交流、地域ニーズ把握の機会とする。また、地域の方にイベントの周知、協力を呼びかけ、自分の暮らす街への愛着を感じるきっかけとする。</p> <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントの周知と材料の回収 ・地域の子ども達、障がい者日中活動支援利用者等と卵キャンドル、牛乳パックランタンづくり ・当日の設営と見守り <p>主催：キャンドルナイトin港南台2017実行委員会</p>	10月 年1回

平成29年度 自主事業計画書

横浜市日野南地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ふるさと日野の よもやま話	<p>(目的) 高齢者から若い世代へ、地域の歴史、言い伝えを聞くことで、自分の住む地域を知り愛着を感じられるようになると共に、世代間交流の機会とする。</p> <p>(内容) ・歴史資料室見学会 ・地域の歴史の講演会 ・言い伝え、むかし語り</p>	8月・3月 年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
あおぞら ウォーキング	<p>(目的) ウォーキングを通じた健康維持。自分の住む地域を知ることによって地域に愛着を持ち、仲間づくり、交流の機会とする。</p> <p>(内容) ・健康ウォーキング</p> <p>共催：日野地区社会福祉協議会</p>	4月・10月 年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
高齢者見守り事業 ひまわり ホルダー	<p>(目的) 高齢者が自宅内や外出中に急に体調を崩した際に、必要な情報を消防や救急隊、警察等に伝えることができ、不測の事態に備えることができる。 高齢者がケアプラザで登録することにより、元気なうちから包括支援センターとの関わりを持つことができる。</p> <p>(内容) 区内ケアプラザ同時実施。高齢者にホルダーを配布、登録情報を必要時に関係機関に情報提供を行う。</p>	随時

事業名	目的・内容	実施時期・回数
日野地域づくり 健康ウォーキング	<p>(目的) 日野地区第3期地域福祉保健計画推進事業。昨年度に引き続き、日野地区住民の健康づくり、交流のきっかけとして実施。また、ウォーキングの中で防災・防犯のポイント地点の確認を行い、防災に関心を持ってもらう機会とする。</p> <p>(内容) ・健康ウォーキング ・昼食を食べながら歓談</p>	10月・3月 年2回

平成29年度 自主事業収支計画書

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
ひまわりホルダー事業	65歳以上高齢者	32000円	2000円	30000円	0	32000円	0
	100名						
	300円						
ミニデイサービス かっぱの会	高齢者	253400円	43400円	210000円	35000円	210000円	8400円
	25名						
	700円						
認知症予防教室 スリーAそよかぜの会	高齢者	62500円	5000円	57500円	0	46400円	16100円 (保険)
	25						
	100円						
お茶のみサロン	高齢者	47000円	5000円	42000円	0	35240円	11760円 (保険)
	35						
	100円						
認知症カフェ オレンジカフェたんぽぽ	地域の方	15000円	7000円	8000円	0	12760円	2240円 (保険料)
	10名						
	100円						
介護者のつどい	地域の方	33731円	33731円	0	33411円	320円	0
	80名						
	なし						
権利擁護講座	高齢者	30640円	30640円	0	30000円	640円	0
	70名						
	なし						
若年性認知症 港南区のつどい みなとみな	本人、家族	2000円	2000円	0	0	2000円	0
	20名						
	なし						

平成29年度 自主事業計画書

横浜市日野南地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ひまわりホルダー事業	<p>目的：地域に住む高齢者が、外出の際に体調不良で倒れてしまった時やケガをしてしまった時などに円滑に緊急連絡先に連絡を取ることができるようにする。</p> <p>内容：港南区全域で実施しているひまわりホルダー事業を実施する。高齢者の緊急連絡先等の情報を預かる代わりに外出時に持ち歩くことができるキーホルダーを配布する。</p>	随時

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ミニデイサービス かつぱの会	<p>(目的) 外出する機会の少ない高齢者を対象に、様々なプログラムを通して交流の機会を提供していく。また、家族が認知症家族の会に参加している間に要介護者の方に過ごしていただく場としても利用する。</p> <p>(内容) 体操、歌、手工芸、ゲーム等 今年度より地域のボランティアによる手作りの昼食を提供していきます。</p>	毎月第2金曜日 10:00～14:00 年11回 (8月はなし)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症予防教室 スリーA そよかぜの会	<p>目的：スリーAをツールとして認知症予防及び進行を遅らせる脳活性化リハビリゲームを通して仲間づくりと介護予防を実践する。</p> <p>内容：明るく・あたまを使って・あきらめないを優しさのシャワーの中で実践する。指体操・リズム体操・太鼓と竹の演奏・最後の茶話会で交流を深める。</p>	毎月第1.3木曜日 13:30～15:30 年22回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
お茶のみサロン	<p>(目的) 外出の機会の少ない高齢者の居場所を作り、閉じこもりや認知症を予防する。 同じ趣味を持つ仲間づくりの機会を提供する。</p> <p>(内容) お茶を飲みながらおしゃべりしたり、趣味に合わせて麻雀、囲碁、将棋、脳トレ、カラオケなどを、仲間と楽しむ。</p>	毎月第4金曜日 13:00～15:00 年12回

平成29年度 自主事業計画書

横浜市日野南地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
認知症家族の会 あひるの会	<p>目的：認知症の人を介護する介護者同士が定期的に顔を合わせ、悩みや対処法についての情報交換を行うことで家族だけで介護を抱え込まない環境を作り、介護者の負担軽減に繋がるよう支援を行う。介護者がお互いに話し合うことで認知症への理解を深めよりよい対応ができるようにする。</p> <p>内容：毎月1回定期的に集まる場を持ち、近況報告や介護者同士が情報交換したり、お互いに助言し合う。</p>	毎月第2金曜日 10：00～12：00 年12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護者のつどい	<p>目的：介護者に認知症や介護について正しい知識を持ってもらい、より良い対応ができるように学ぶ機会を提供していく。また、地域住民に介護について知ってもらうことで、家族の大変さや地域に何が必要かということについても理解してもらうことを目的とする。</p> <p>内容：①有料老人ホームについての講演会 ②杉山孝博先生による認知症理解の講演会 ③家族介護者による体験談の講演会</p>	①平成29年6月22日 ②平成29年9月4日 ③平成30年1月25日 年3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
出張相談会	<p>目的：地域の方と直接顔を合わせる中で、気軽に相談できる関係を作り支援を行っていく。また、ケアプラザまでは来れない方でも身近な場所で相談ができることを目的とする。</p> <p>内容：出張相談会の実施。 ・隔月5日（五楽会）・第2月（おしゃべりくらぶ） ・第2木（こでまり）・第2土（日野町内会） ・第3水（日野地区日野南地区民児協） ・第3金（笑福会）・30日（金井町内会） ・日野地区チャリティバザー ・J A横浜日野支店農協まつり 等</p>	各町内会 概ね月1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
出張講座	<p>目的：地域の方と顔の見える関係作りの一環として、健康に過ごすために役に立つ講座を地域に出向いて実施する。</p> <p>内容：町内会自治会の依頼に合わせて実施していく。</p>	随時

平成29年度 自主事業計画書

横浜市日野南地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
地域向け 認知症 サポーター 養成講座	目的：認知症になっても暮らしやすい地域を目指して、 地域住民対象に認知症理解の普及啓発を行う。 内容：認知症サポーター養成講座の企画運営を地域の キャラバンメイトと一緒にを行う。 ①日野地区民児協 ②日野町内会 ③日野住宅地自治会 その他、依頼時実施する。	①平成29年5月17日 ②平成29年6月10日 ③平成29年7月3日 その他、随時

事業名	目的・内容	実施時期・回数
学校対象 認知症 サポーター 養成講座	目的：認知症になっても暮らしやすい地域を目指して、 小中学校、高校対象に認知症理解の普及啓発を 行う。 内容：認知症サポーター養成講座の企画運営を地域の キャラバンメイトと一緒にを行う。 ①小坪小学校4年生対象 ②日野南中学校2年生対象 ③日野小学校3.4年生対象 その他、依頼時実施する。	①平成29年6月29日 ②平成29年7月3日 ③平成29年10月21日 その他、随時

事業名	目的・内容	実施時期・回数
事業所向け 認知症 サポーター 養成講座	目的：認知症になっても暮らしやすい地域を目指して、 港南区内の事業所対象に認知症理解の普及啓発を 行う。 内容：認知症サポーター養成講座の企画運営を地域の キャラバンメイトと一緒にを行う。 ①横浜市交通局港南事務所対象 ②港南区役所職員対象	①、②ともに 日程調整中

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症カフェ オレンジカフェ たんぽぽ	目的：認知症の人とその家族が気軽に参加できる居場所 作りを目的としている。 内容：地域で活動するボランティアの力を借り、認知症の 人とその家族が気兼ねをせずに参加でき、認知症の ことについて語り合うことのできる場を提供する。	毎月第4火曜日 年8回（予定）

平成29年度 自主事業計画書

横浜市日野南地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
権利擁護講座	<p>目的：地域に住む高齢者に権利擁護の意識を高めてもらい、権利侵害を予防できるよう普及啓発を行う。具体的なわかりやすいテーマを基に、多くの高齢者に自分の持つ権利について考えてもらう機会としたい。</p> <p>内容：①任意後見講座 ②エンディングノート講座（2回講座）</p>	<p>①平成29年6月23日 ②平成29年9月28日 平成29年10月26日 （2回講座）</p> <p>年2回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
港南区 社福士分科会 虐待防止研修	<p>目的：介護保険事業所やケアマネジャーに高齢者虐待について知識を持ってもらい、早期発見・悪化防止に繋げる。</p> <p>内容：高齢者虐待についての説明 グループワーク 等 ①港南中央地域ケアプラザ通所介護職員対象 その他、依頼時に対応する。 * 港南区社福士分科会共催</p>	<p>①平成29年6月21日 その他、随時</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
日野南地区 介護保険事業所 連絡会	<p>目的：日野南包括支援センターエリアで活動している介護保険事業所中心に勉強会を行い、互いの活動についての情報交換をする。</p> <p>内容：情報交換のテーマを決め、ディスカッション方式で情報交換を行う。 ①認知症について ②内容未定</p>	<p>①平成29年6月23日 ②平成30年1月頃</p> <p>年2回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
若年性認知症 港南区のつどい みなとみな	<p>目的：若年性認知症の人とその家族が気軽に参加でき、同じ病気を抱える仲間と交流を持ったり、介護者同士悩みを共有できる場を作る。</p> <p>内容：本人たちの参加の場としての本人の部と介護家族の意見交換会を行う介護者の部の二部構成で実施。 ①本人の部・介護者の部 ②介護者の部のみ（時短） ③本人の部・介護者の部（時短）</p>	<p>①平成29年9月3日 ②平成29年12月10日 ③平成30年2月4日 年3回</p>

平成29年度 自主事業計画書

横浜市日野南地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護予防普及強化事業	<p>目的：介護予防の基礎知識（ロコモ予防・口腔機能向上 栄養改善・認知症予防）の理解を深め実践できる。</p> <p>内容：①健康体操2017&ウォーキング ②元気が一番！いろは塾 ③シルバープランニング講座（地区社協共催） ④スリーA支援者研修</p>	<p>①平成29年5月15日 5月29日・6月5日</p> <p>②平成29年10月2日 10月16日・30日</p> <p>③平成29年12月5日 12月12日</p> <p>④平成30年1月22日 2月5日・19日</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護予防事業	<p>目的：住み慣れた地域で元気に生活が継続できるよう介護予防をで意識した取り組みが継続して実践できる。</p> <p>内容：①元気づくりステーション活動支援（区役所と連携） 日野南地区「日野南ひだまりの会」 日野地区「筋トレ！日野すまいるクラブ」 ②保健の集い ③健康医学講座</p>	<p>①毎月第1・3 火曜日随時 毎週木曜日 随時</p> <p>②平成29年5月31日</p> <p>③平成30年 1月～3月1回 予定</p>